



Level up your happiness



令和5年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年1月30日

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日~令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和5年3月期第3四半期	49,439	△10.6	22,994	△15.2	16,880	△56.5	13,477	△52.4
令和4年3月期第3四半期	55,327	25.9	27,127	40.1	38,761	29.7	28,293	27.4

(注) 包括利益 令和5年3月期第3四半期 59百万円(△99.8%) 令和4年3月期第3四半期 27,372百万円(△31.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和5年3月期第3四半期	42.78	39.22
令和4年3月期第3四半期	85.10	84.47

(注) 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和5年3月期第3四半期	189,092	121,637	64.0	384.30
令和4年3月期	219,803	138,101	62.6	437.16

(参考) 自己資本 令和5年3月期第3四半期 121,094百万円 令和4年3月期 137,690百万円

(注) 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和4年3月期	-	0.00	-	108.00	108.00
令和5年3月期	-	0.00	-	-	-
令和5年3月期(予想)	-	-	-	48.00	48.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、令和4年3月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の令和5年3月期(予想)の配当金は96円となります。

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	5.8	34,000	△1.5	31,000	△36.3	23,500	△33.5	74.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 -社 (社名) - 除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	令和5年3月期3Q	336,096,924株	令和4年3月期	336,096,924株
② 期末自己株式数	令和5年3月期3Q	20,991,926株	令和4年3月期	21,133,014株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	令和5年3月期3Q	314,998,021株	令和4年3月期3Q	332,470,940株

(注) 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和5年1月30日 (月) にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ問題の長期化への懸念、世界的な金融引き締めや物価上昇により、先行きは不透明な状況です。

中期経営計画の初年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。

当第3四半期は、パッケージゲームでは、新作1タイトルが発売となった他、前年度までに発売したタイトルのリピート販売が引き続き堅調でした。スマートフォンゲームでは、既存タイトルが安定して推移した他、自社開発の新作タイトルを配信開始しました。

第3四半期累計では、前年度にパッケージゲーム分野において複数の新作タイトルの発売があったこと等により、前年度に比べ売上高と営業利益は減少しました。営業外収支においては、戦略的にポートフォリオの組み替えを行ってきたものの、厳しい金融環境の変化の影響を受け、デリバティブ評価損を計上しました。

これらの結果により、売上高494億39百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業利益229億94百万円（同15.2%減）、経常利益168億80百万円（同56.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益134億77百万円（同52.4%減）となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 462億98百万円 セグメント利益 224億56百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、10月にスマートフォンゲーム『三国志 覇道』を韓国で配信開始しました。「シブサワ・コウ」40周年を記念したMMO戦略シミュレーションゲーム『信長の野望 覇道』（iOS、Android用）を12月に国内でサービスを開始しました。App Storeセールスランキングで14位に入るなど、順調な滑り出しとなりました。

「ω-Force」ブランドでは、TYPE-MOON監修、株式会社アニプレックス制作協力による「Fate」シリーズ最新作『Fate/Samurai Remnant』（PS5、PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用）を2023年に発売予定であることを発表しました。

「Team NINJA」ブランドでは、当社が開発を担当した『STRANGER OF PARADISE FINAL FANTASY ORIGIN（発売元：株式会社スクウェア・エニックス）』が、12月に発表された「PlayStation® Partner Awards 2022 Japan Asia」にて、ユーザー投票によって選出される「USERS' CHOICE AWARD」を受賞しました。

「ガスト」ブランドでは、開発中のスマートフォンゲーム『BLUE REFLECTION SUN/燦』（iOS、Android、DMM GAMES用）のクローズドβテストを12月に実施しました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、国内で配信中の『金色のコルダ スターライトオーケストラ』において各種ゲーム内イベントを実施しました。イベント事業では『アンジェリーク ルミナライズ 2nd Floating Stage』を開催しました。

「midas」ブランドでは、新規スマートフォンゲームの開発に注力しております。

上記ブランド以外では、当社が開発を担当した『ウルトラ怪獣モンスターファーム』（Nintendo Switch用）が10月に株式会社バンダイナムコエンターテインメントから国内、アジア、北米で発売されました。

IP事業においては、国内及びアジア各地域で配信中の『三国志・戦略版』（国内では『三国志 真戦』）が、引き続き高水準で推移しました。

アミューズメント事業 売上高 22億65百万円 セグメント利益 3億96百万円

アミューズメント施設は、12月に新たに1店を出店し、店舗数は10店となりました。スロット・パチンコでは、当社が開発を担当した1タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 9億46百万円 セグメント利益 2億31百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、有観客イベントで高い稼働率を維持し、開業以来の累計観客動員数は50万人を目前にしております。

その他事業 売上高 2億76百万円 セグメント損失 89百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して307億11百万円減少し1,890億92百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が56億62百万円増加した一方で、有価証券が172億81百万円、その他流動資産に含まれている未収還付法人税等が92億25百万円、現金及び預金が74億21百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して142億47百万円減少し674億54百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方で、その他流動負債に含まれている預り金が94億80百万円、未払金が71億33百万円、未払法人税等が57億27百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して164億63百万円減少し1,216億37百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が3億18百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が137億15百万円、利益剰余金が33億64百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年4月25日に公表した令和5年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(令和5年1月30日)別途開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,235	12,813
売掛金及び契約資産	13,072	11,227
有価証券	25,185	7,903
商品及び製品	38	90
仕掛品	112	33
原材料及び貯蔵品	77	86
その他	13,365	5,502
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	72,075	37,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,270	21,522
土地	14,093	13,974
建設仮勘定	82	34
その他（純額）	1,399	1,440
有形固定資産合計	37,846	36,971
無形固定資産		
その他	275	246
無形固定資産合計	275	246
投資その他の資産		
投資有価証券	102,940	101,486
繰延税金資産	881	6,543
退職給付に係る資産	1,824	2,251
その他	4,749	4,802
貸倒引当金	△790	△857
投資その他の資産合計	109,605	114,227
固定資産合計	147,727	151,445
資産合計	219,803	189,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	520	1,091
短期借入金	-	9,000
未払金	9,646	2,513
未払法人税等	6,470	742
賞与引当金	1,928	873
役員賞与引当金	389	307
その他	13,660	4,527
流動負債合計	32,616	19,056
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	48,146	47,542
繰延税金負債	156	96
その他	782	758
固定負債合計	49,085	48,397
負債合計	81,701	67,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	28,006	27,931
利益剰余金	130,954	127,589
自己株式	△39,393	△39,132
株主資本合計	134,567	131,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,548	△10,167
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	2,418	2,737
退職給付に係る調整累計額	271	251
その他の包括利益累計額合計	3,122	△10,294
新株予約権	411	543
純資産合計	138,101	121,637
負債純資産合計	219,803	189,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	55,327	49,439
売上原価	16,372	15,467
売上総利益	38,955	33,971
販売費及び一般管理費	11,827	10,976
営業利益	27,127	22,994
営業外収益		
受取利息	4,300	10,107
受取配当金	845	565
投資有価証券売却益	15,091	1,701
為替差益	187	408
デリバティブ評価益	936	4,216
その他	1,362	727
営業外収益合計	22,723	17,727
営業外費用		
投資有価証券評価損	2,709	934
投資有価証券売却損	1,939	2,759
有価証券償還損	-	7,373
デリバティブ評価損	6,369	12,626
その他	71	148
営業外費用合計	11,089	23,842
経常利益	38,761	16,880
税金等調整前四半期純利益	38,761	16,880
法人税、住民税及び事業税	10,172	3,084
法人税等調整額	295	318
法人税等合計	10,468	3,403
四半期純利益	28,293	13,477
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,293	13,477

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	28,293	13,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,410	△13,715
為替換算調整勘定	511	318
退職給付に係る調整額	△21	△20
その他の包括利益合計	△920	△13,417
四半期包括利益	27,372	59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,372	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,328	1,980	784	55,093	233	55,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	3	1	34	219	253
計	52,357	1,983	786	55,127	453	55,581
セグメント利益	26,583	163	125	26,872	254	27,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	26,872
「その他」の区分の利益	254
四半期連結損益計算書の営業利益	27,127

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,178	2,265	943	49,387	52	49,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	119	0	3	124	224	348
計	46,298	2,265	946	49,511	276	49,787
セグメント利益又は損失(△)	22,456	396	231	23,083	△89	22,994

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,083
「その他」の区分の損失	△89
四半期連結損益計算書の営業利益	22,994

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。